次世代型大学教育開発拠点

九州大学基幹教育院

次世代型大学教育開発拠点の概要

・科目の壁を越えて、科学の基礎的な観点や共通する方法論を基盤とした授業開発や教育改善を推し進める基幹教育院の組織文化を活かした、リベラルサイエンスの取組を行う
・大学院生や新任教員等に関しては、教育に関する職能開発のFDを行う
・学長のリーダーシップや教学マネジメントを支える専門的人材養成プログラムの開発と研修を行う

リベラルサイエンス教育開発モジュール	大学教員職能開発モジュール	専門的職員養成開発モジュール
• 文理融合型の「科目開発」による授業展開手法の実践とプログラム化 • STEM教育の観点を参照 • 担当:野瀬健	• シラバス、コースデザイン、アクティブラーニング手法等 • 担当:川島啓二	• アドミッション・オフィサー • カリキュラム・コーディネーター • インスティテューショナル・リサーチャー • 担当:小湊卓夫

リベラルサイエンス教育開発モジュールの取組概要

教育の質の向上を目指して

運営・企画

スキルを持った教員

基幹教育院

共同

一般教員

科目開発・カリキュラム開発

基幹教育科目・教育プログラム

基幹教育セミナー

- 文理融合クラスで自らの学びを考える

課題協学科目

- 文理融合の教員・学生クラスで、グループでの討論や共同作業を通して、「アクティブな学習態度」を養う

自然科学総合実験

- 人間が自然の事物・現象を実験・観察を通してどのように理解しようとしてきたのかについて総合的に理解する

21世紀プログラム

- 特定の学部・学科に所属するのではなく、自分の意思で、自分のオーダーメイドで、自分で学び創り上げていくプログラム

FD・ワークショップ

周知・展開・実施

学内

研究院・学部・学科

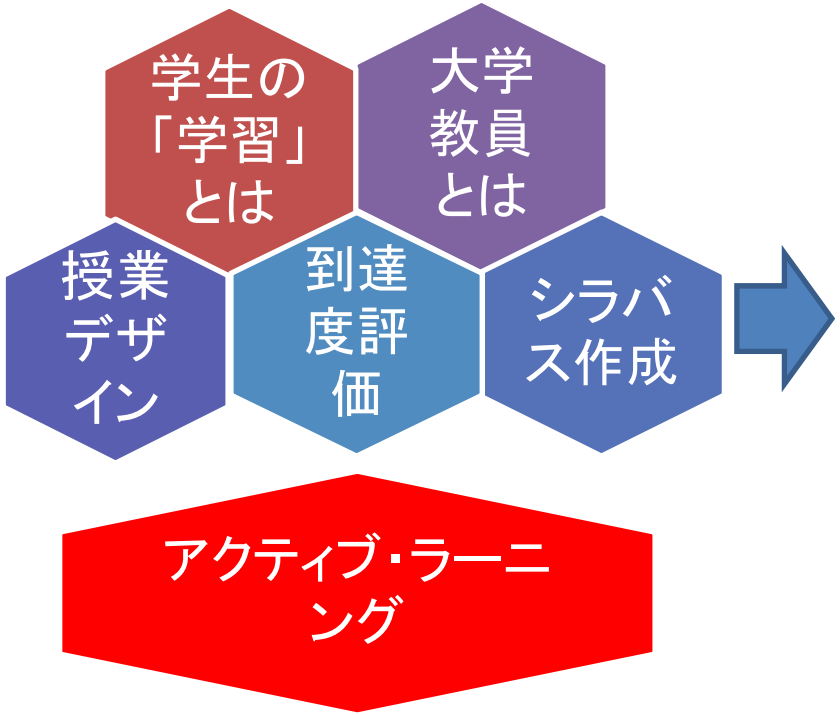
本事業

学外に公開

コンセプト・ノウハウ

・従来の科目の垣根を越えた、授業科目の開発
・まずは、自然科学系から。STEM教育の観点から基幹教育の改革を進める。
　そして、人文科学、社会科学との融合を目指す。
・これらの過程で蓄積した教育資産を、広く学外にも共有し、さらに磨き上げる

大学教員職能開発モジュールの取組概要



- 大学院基幹教育科目としての「PFFP –Preparing Future Faculty Program-（大学教員養成プログラム）」をベースにアレンジ
- 教育プロフェッショナルとしての大学教員
- 授業スキルを中心にTeaching能力を育成
- 学生のLearningについての理解
- アクティブ・ラーニング諸技法の習得によって実践的スキルを向上
- 今後は研究倫理等についても、プログラム構築を検討

専門的職員養成
開発モジュールの取組概要

・学長のリーダーシップを支え、内部質保証システムを機能させるために必要な、専門的人材養成プログラムを提供し、組織的な大学教育改革の進展に貢献する。

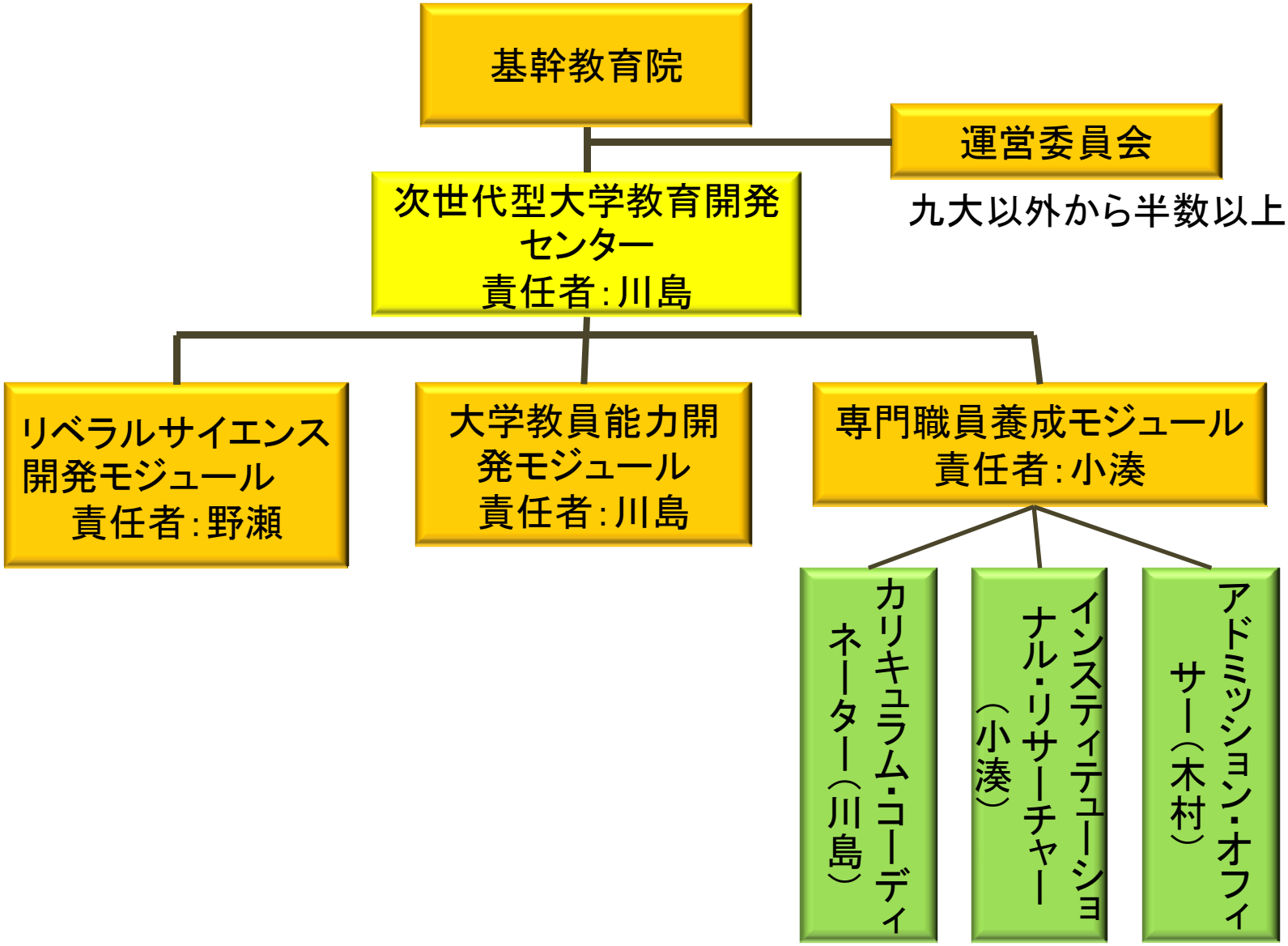
・受講者としては、他大学教職員のみならず、九州大学教職員の受講を期待し、もって、九州大学の改革加速に資する。

・大学入試センターや各専門団体との連携を重視し、ジョイント・プログラム等の企画・実施により、プログラム内容の汎用性や水準の維持を確保する。

・各モジュールにおいて、体系性や段階性に配慮した年3回程度の研修プログラム（外部講師を含む）を企画・実施する。

アドミッション・オフィサー養成	カリキュラム・コーディネーター養成	インスティテューショナル・リサーチャー養成
• 大学入試センターと連携 • 担当:木村拓也（入研協で上記組織とは常時協力関係）	• 日本高等教育開発協会と連携 • 担当:川島啓二（上記団体の前会長）	• 大学評価コンソーシアムと連携 • 担当:小湊卓夫（上記団体の代表幹事）

「拠点」活動実施体制


基幹教育院
運営委員会
九大以外から半数以上
次世代型大学教育開発センター
責任者：川島
リベラルサイエンス開発モジュール
責任者：野瀬
大学教員能力開発モジュール
責任者：川島
専門職員養成モジュール
責任者：小湊
カリキュラム・コーディネーター（川島）
インスティテューショナル・リサーチャー（小湊）
アドミッション・オフィサー（木村）